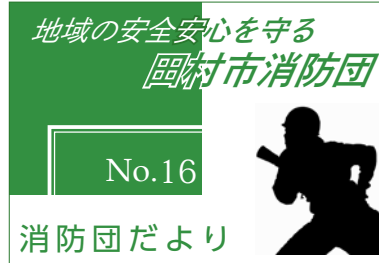


都路地区隊の主な活動を紹介します



◀平成28年新春防火パレード（1月10日）
ラップ隊を先頭に町内をパレードしました。

▶都路灯まつりで予防消防を啓発（8月6日）
都路分署の協力により「めざそう 火災ゼロ 都路」ののぼり旗を作成、各屯所に設置して、予防消防に取り組んでいます。



めざそう 火災ゼロ 都路
都路町の安全・安心のため
消防団の組織や活動内容などを紹介する「消防団だより」の第16回目は、都路地区隊をお知らせします。
都路地区隊は都路分署と「火災ゼロ都路」を目指しており、毎月5の付く日を防火・防犯の活動日として、5日、15日、25日の月3回、予防消防に取り組んでいます。

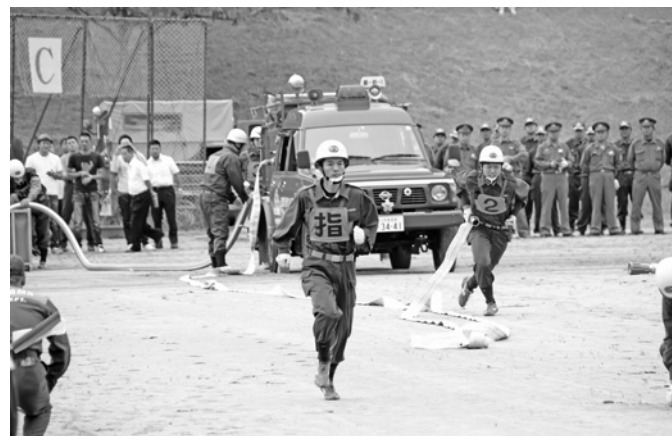
◆第6回田村市消防操法大会に出場

第6回田村市消防操法大会が6月26日、常葉運動場で行われました。

都路地区隊には古道分団と岩井沢分団があり、今回は古道分団が小型ポンプの部、岩井沢分団がポンプ車の部に出場しました。

古道分団は選抜チームを結成し、青木和典分団長を中心に優勝を目指して練習を重ねましたが、残念ながら入賞を逃しました。

岩井沢分団は渡辺福弥分団長を中心に練習に励んだ結果、前大会の小型ポンプの部に続いて、今大会も準優勝しました。



▲操法中の岩井沢分団の選手



▲小型ポンプ操法の部に出場した古道分団の選手



▲ポンプ車操法の部で準優勝した岩井沢分団の選手



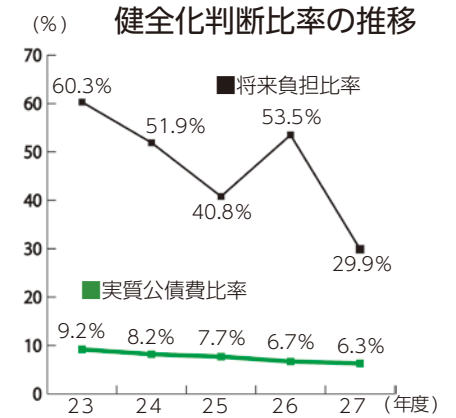
市の財政健全化判断比率を公表します

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、平成27年度の健全化判断比率および資金不足比率を公表します。

健全化判断比率とは

健全化判断比率には、①実質赤字比率、②連結実質赤字比率、③実質公債費比率、④将来負担比率の4つの指標があります。⑤資金不足比率は、地方公営企業会計の会計ごとに、資金の不足額を事業の規模で除したものです。

分かりやすく言うと、財政状況が危うくなった時点でイエローカード（早期健全化基準）により警告を与え、その自治体自らが財政再建できないと明確になればレッドカード（財政再生基準）で、国の関与のもとに財政再建に取り組むことになる制度です。



平成27年度決算に基づく健全化判断比率・資金不足比率

指標	指標の内容	田村市の比率	早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率	一般会計等（田村市では一般会計・授産場事業特別会計・診療所事業特別会計）の実質赤字比率です。 ※対象となる会計はすべて黒字であり、実質赤字比率は算定されません。	—	12.82%	20%
②連結実質赤字比率	すべての会計（一般会計等・公営事業会計（田村市では国民健康保険特別会計・介護保険特別会計・後期高齢者医療特別会計・公営企業会計））の実質赤字比率です。 ※対象となる会計はすべて黒字であり、連結実質赤字比率は算定されません。	—	17.82%	30%
③実質公債費比率	公債費や公債費に準じた経費の比重を示す比率です。 ※前回算定値（平成26年度：6.7%）と比べると、0.4ポイント下がりました。 これは、過去3カ年平均で算定する数値となるため、平成27年度に一部公債費の繰上償還を実施し、地方債（借入れ）残高が減少したことのほか、一部事務組合負担金等の債務負担額が減少したことによるものです。	6.3%	25%	35%
④将来負担比率	地方債残高のほか一般会計等が将来負担すべき実質的な負債をとらえた比率です。 ※前回算定値（平成26年度：53.5%）と比べると23.6ポイント下がりました。 これは、繰上償還等による地方債（借入れ）残高の減少や、財政調整基金を始めとした将来負担に対する積立金が増額となったことによるものです。	29.9%	350%	—
⑤資金不足比率	公営企業（田村市では水道事業会計、滝根町観光事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、公共下水道事業特別会計）ごとの資金不足に対する比率です。 ※すべての公営企業において資金不足額、資金不足比率はありません。	—	20%	—

①および②については、黒字のため、⑤については、資金が不足していないことで数値が算定されなかったため、「—」と表示しています。
今後も引き続き、健全な財政の維持に努めていきます。